稚内市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

自家用車の普及や少子化による通学者の減少等により、バス利用者も年々減少しており、郊外路線に対する市の費用負担も増加傾向にある。

このため、地域公共交通総合連携計画を策定し、サービス維持を図りつつ路線の再編や統合も含めた、効率的で持続可能な公共交通の確立を目指し、関係機関における協議を経て、バス路線の再編・経路変更が進められてきた。

「天北地区、恵北・増幌地区」と「更喜苫内地区」において、地域間幹線系統と接続とした予約型乗合タクシーを本格運行してから5年目を迎え、更なる地域住民への定着と利用促進を図ってきたところである。

生活交通ネットワーク計画の目標

【 目標（利用者の増加を目指す）】

■天北地区、恵北・増幌地区

・H25年10月～H26年３月の利用者数平均585人／月を上回ることを目標とした。

■更喜苫内地区

・H25年10月～H26年３月の利用者数平均167.6人／月を上回ることを目標とした。

【 効果 】

安定した利用者の確保が運行収入の安定化につながり、自治体負担に一定の目途をつけることで、行政区域全体の公共交通の維持確保に向けた取り組みの実施が可能となる。

平成27年度事業概要

■天北地区、恵北・増幌地区

・天北地区、恵北・増幌地区各戸から稚内駅前ターミナル

■更喜苫内地区

・更喜苫内地区、上勇知地区各戸から潮見５丁目

地域公共交通の現況

■稚内空港（羽田便・新千歳便）
■JR宗谷本線（稚内駅、南稚内駅、抜海駅、勇知駅）
■宗谷バス㈱（市内路線・天北宗谷岬線・都市間バス等）
■ハートランドフェリー㈱（利尻・礼文航路は通年、サハリン航路は季節運航）
■タクシー事業者２社（稚内日の丸交通・ 北都ハイヤー）
■スクールバス（宗谷・抜海・下勇知・東浦・増幌・天北）

協議会開催状況

■<u>平成26年度第2回協議会　H27年3月24日開催</u>
・平成26年度協議会実施事業経過報告
・平成27年度協議会事業について
・事業概要及び予算（案）　他

■<u>平成27年度第1回協議会　H27年6月29日開催</u>
・平成26年度　稚内市地域公共交通活性化協議会事業について
・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（自己評価）に対する二次評価結果
・平成28年度 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

■<u>H27年11月9日書面協議</u>
・自家用旅客運送の変更登録申請に係る書面協議について

■<u>H27年12月14日書面協議</u>
・地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

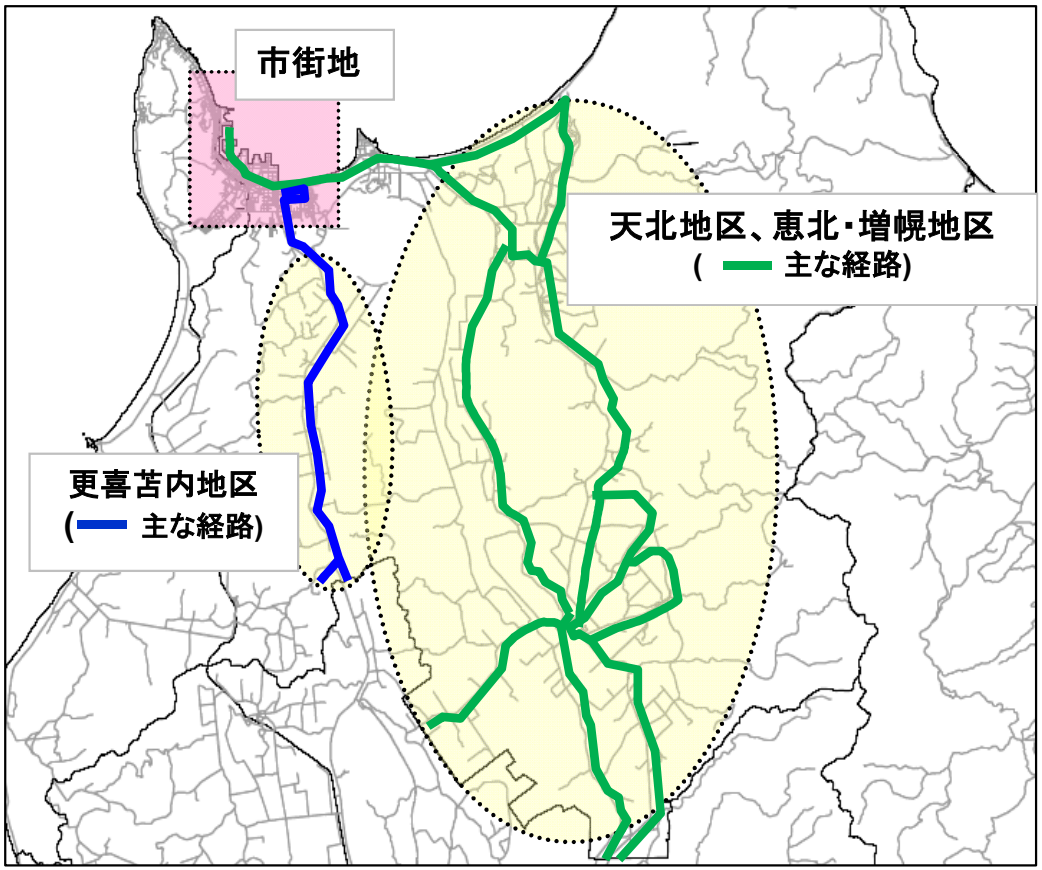
平成27年度事業の実施状況

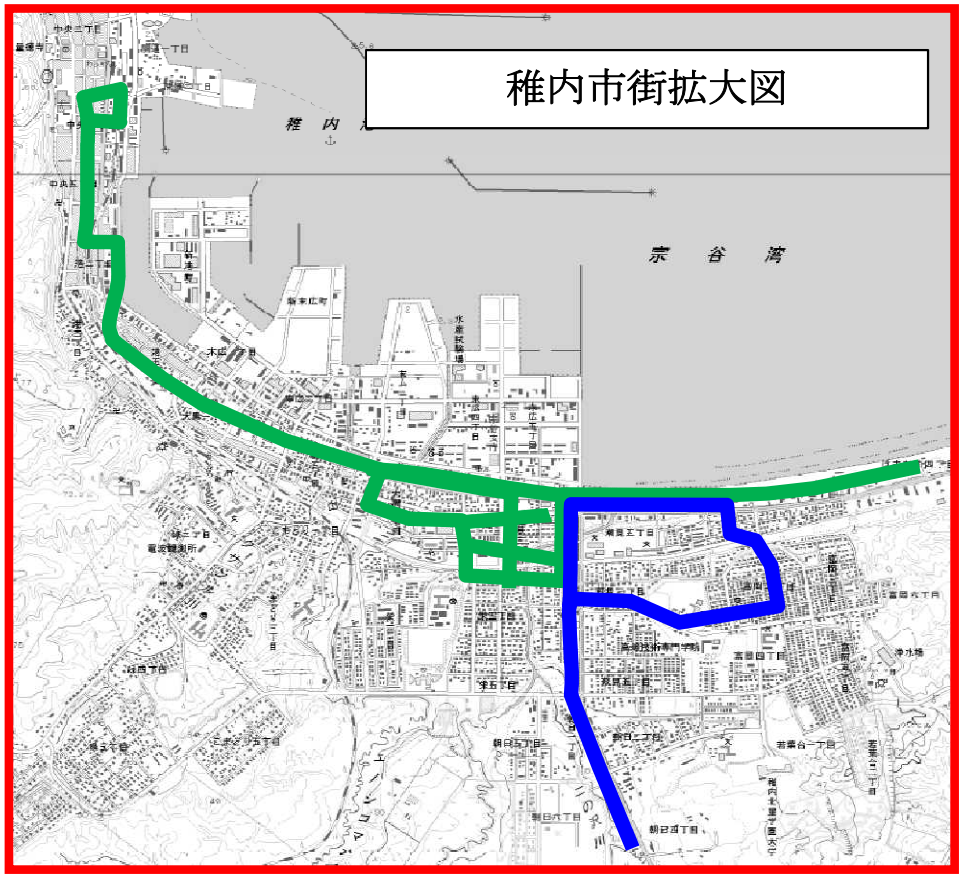
1）プロセス、創意工夫

【プロセス】
・旧天北線バスの経路変更をはじめとする郊外バス路線の再編に伴い、代替交通としてH23年9月まで実証運行を実施し、同年10月から本格実施となり現在5年目を迎えている。

【創意工夫】
・利用者等の意見を反映し、市街地停留所を検討するなど利便性の向上に努めてきた。

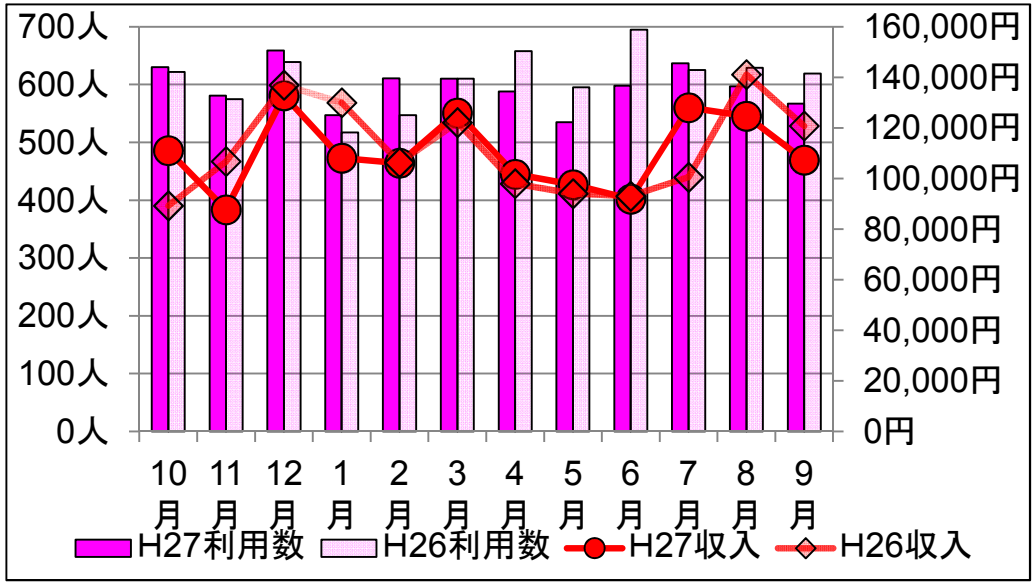
2）運行ルート



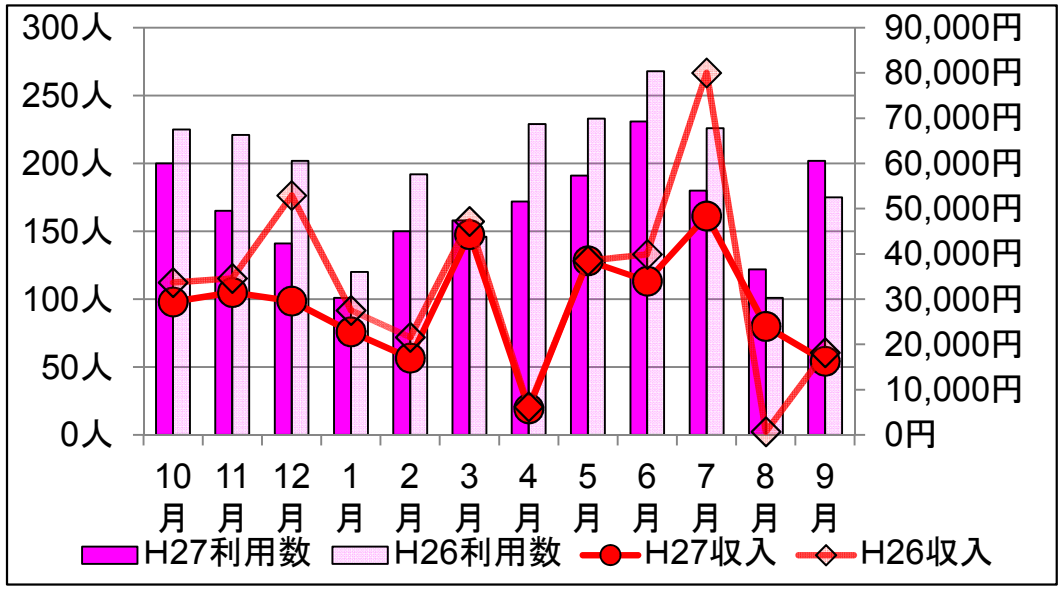


3）利用実績　4）収入実績

天北地区、恵北・増幌地区の利用状況の推移



更喜苫内地区の利用状況の推移



天北	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
H27 利用数	630	581	659	547	611	610	588	535	598	637	597	567	7,160
H26 利用数	622	575	639	517	547	610	658	595	695	625	629	619	7,331
H27 収入	111,050	87,650	132,750	108,070	106,100	125,910	101,700	97,560	91,870	128,020	124,650	107,300	1,322,630
H26 収入	89,210	106,750	136,900	129,950	106,350	122,170	98,000	94,020	93,020	100,470	141,090	120,800	1,338,730

更喜苫内	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
H27 利用数	200	165	141	101	150	158	172	191	231	180	122	202	2,013
H26 利用数	225	221	202	120	192	146	229	233	268	226	101	175	2,338
H27 収入	29,400	31,500	29,600	22,800	17,000	44,300	5,800	38,500	34,000	48,400	24,000	16,300	341,600
H26 収入	33,700	34,600	52,900	27,500	21,600	47,200	6,200	38,500	39,900	80,000	700	18,200	401,000

5）事業実施の適切性

■天北地区、恵北・増幌地区
・計画通り事業は適切に実施された。

■更喜苫内地区
・計画通り事業は適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

■天北地区、恵北・増幌地区
・目標の平均585人／月に対して平均597人／月 となった。

・高齢者の利用割合が半数に及んでおり、外出機会創出にも効果があると考えられる。

■更喜苫内地区
・目標の平均167人/月に対して、平均168人／月となった。

・通院や通学への交通手段の確保は、実現できたものと判断している。

7）事業の今後の改善点

■天北地区、恵北・増幌地区
・懇談会を開催し、利用者の意見に耳を傾け、路線バスの再編も視野に入れていく必要がある。

■更喜苫内地区
・当該地区の主たる利用者である児童生徒が、年々増加傾向にあることから、スクールバス等との関連も含め関係者と協議していく必要がある。
・当該地区では通学生の利用が主であるが、その他の利用者についても、ここ数年増加傾向にあることから更なる利用拡大に努めていきたい。

8）地方運輸局における二次評価結果

・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
・前年度と同数の利用者数を目標とし、達成されたことは評価するが、運行から５年を経過したことから、利用者の満足度や収支率の改善など、複数の目標を設定し、多角的な観点から、持続可能な事業となることを期待する。
・更喜苫内地区については、スクールバス関係者とも慎重に協議を行い、地域のニーズにあった事業となることを期待する。